

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)

【公表番号】特表 2005-517171(P2005-517171A)
【公表日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)
【年通号数】公開・登録公報 2005-022
【出願番号】特願 2003-566504(P2003-566504)
【国際特許分類】

G 0 1 F 11/32 (2006.01)

【F I】

G 0 1 F 11/32

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

物質用の一体型定量供給装置であって、

(a) 1 回分の用量よりも多量の物質を保持する寸法を有するメインチャンバと、

(b) 1 回分の用量の物質を保持する寸法を有し、前記メインチャンバと流体連通している定量供給チャンバと、

(c) 無付勢シャトルとを具備し、

前記無付勢シャトルは、

(i) 前記物質を、一体型定量供給装置から流出させることなく、前記メインチャンバと前記定量供給チャンバとの間で流動させることができる第 1 の位置と、

(i i) 該シャトルが押し下げられて前記メインチャンバに対し前記定量供給チャンバを封止し、前記物質を一体型定量供給装置から流出させることができる第 2 の位置と、
の間で移動するように構成されること、
を特徴とする一体型定量供給装置。

【請求項 2】

物質用の緩衝型定量供給装置であって、

(a) 1 回分の用量よりも多量の物質を保持する寸法を有するメインチャンバと、

(b) 1 回分の用量の物質を保持する寸法を有し、前記メインチャンバと流体連通している定量供給チャンバと、

(c) シャトルとを具備し、

前記シャトルは、

(i) 前記物質を前記メインチャンバと前記定量供給チャンバとの間で流動させることができる第 1 の位置と、

(i i) 該シャトルが押し下げられて前記メインチャンバに対し前記定量供給チャンバを封止し、前記物質を前記定量供給チャンバから流出させることができる第 2 の位置と、

(i i i) 前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との中間にある第 3 の位置であって、前記物質を、前記メインチャンバと前記定量供給チャンバとの間で流動させずかつ前記定量供給チャンバから流出させない第 3 の位置と、
の間で移動するように構成されること、
を特徴とする緩衝型定量供給装置。

【請求項 3】

定量供給装置であって、

(a) 1 回分の用量よりも多量の物質を保持する寸法を有するメインチャンバと、

(b) 1 回分の用量の物質を保持する寸法を有し、前記メインチャンバと流体連通している定量供給チャンバと、

(c) シャトルとを具備し、

前記シャトルは、

(i) 前記物質を前記メインチャンバと前記定量供給チャンバとの間で流動させることができる第 1 の位置と、

(i i) 該シャトルが押し下げられて前記メインチャンバに対し前記定量供給チャンバを封止し、前記物質を前記定量供給チャンバから流出させることができる第 2 の位置と、との間で移動するように構成され、

前記シャトルの作動場所が、定量供給装置から前記物質を流出させる分配場所に対し、該定量供給装置の反対側の端部に配置されていること、を特徴とする定量供給装置。

【請求項 4】

1 回分の用量よりも多量の物質を保持する寸法を有するメインチャンバと、1 回分の用量の物質を保持する寸法を有し、該メインチャンバと流体連通している定量供給チャンバと、無付勢シャトルとを具備する、物質用の定量供給装置であって、該無付勢シャトルが、該物質を該定量供給装置から流出させることなく該メインチャンバと該定量供給チャンバとの間で流動させることができる第 1 の位置と、該シャトルが押し下げられて該メインチャンバに対し該定量供給チャンバを封止し、該物質を該定量供給装置から流出させることができる第 2 の位置との間で移動するように構成される、定量供給装置を用意する方法において、

(a) 前記シャトルの少なくとも第 1 の部分を、前記メインチャンバおよび前記定量供給チャンバの内部に位置決めするステップと、

(b) 少なくとも前記メインチャンバを前記物質で充填するステップと、

(c) 前記定量供給装置の内部に前記物質を封じ込めるステップと、を含むことを特徴とする方法。